

製品名: CHD1L (17T3) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe08742**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:200-1:500,FC 1:200-1:500,IP 1:20-1:50
分子量	101kDa

抗原情報

遺伝子名	CHD1L
別名	ALC1; chd1l; CHDL;
遺伝子 ID	9557.0
SwissProt ID	Q86WJ1
免疫原	ヒト CHD1L の合成ペプチド

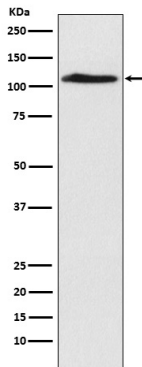
背景

DNA 損傷後のクロマチンリモデリングに関与する DNA ヘリカーゼ。ポリ(ADP-リボース)との相互作用を介して DNA 損傷部位を標的とし、DNA 修復中のクロマチンを制御する機能を有する。ATP 依存的にヌクレオソームスライディングを触媒することができる。ヘリカーゼ活性はポリ(ADP-リボース)結合により強く刺激される。DNA 損傷後のクロマチンリモデリングに関与する DNA ヘリカーゼ(PubMed:19661379, PubMed:29220653)。ポリ(ADP-リボース)との相互作用を介して DNA 損傷部位を標的とし、DNA 修復中のクロマチンを制御する機能を有する (PubMed:19661379)。ATP 依存的にヌクレオソームスライディングを触媒することができる (PubMed:19661379) 。ヘリカーゼ活性はポリ(ADP-リボース)結合により強く刺激される (PubMed:19661379、PubMed:29220653) 。

研究分野

-

画像データ



A549 細胞溶解物中の CHD1L 発現のウエスタン ブロット解析。